分子科学研究所所長招聘研究会
「未来を拓く学術のあり方：化学が率いる持続社会」

1. 主催：日本学術会化学委員会、分子科学研究所、日本化学会戦略企画委員会
2. 日時：平成24年8月8日（水）13：00～18：00（なお、終了後同所で交流会を行います。）
3. 場所：岡崎コンファレンスセンター
4. 開催趣旨：「未来を拓く学術のあり方」について、持続社会を率いるという視点から化学の社会に果たすべき役割、高度人材育成、大学院教育戦略・国際化、研究の展望と夢、大学及び共同研究機関の役割、科学政策・評価などについて各界の意見考えを基に多角的統括的に討議する。

5. プログラム

- 13：00 挨拶 大峯 巖（分子科学研究所所長）
玉尾 皓平（日本化学会会長）
趣旨説明 栗原 和枝（日本学術会議化学委員会委員長）

「課題1 未来を拓く学術のあり方」

- 13：10-13：40 野依良治（理化学研究所理事長）
「学術への期待-未来を拓く学術のあり方」

「課題2 高度人材育成」

- 13：40-14：00 加藤昌子（北海道大学教授）
「報告“大学院における高度人材育成に向けて-化学系大学院を中心として-”より」

- 14：00-14：20 阿波賀邦夫（名古屋大学教授）
「グリーン自然科学国際教育研究プログラムより見る高度人材育成」

- 14：20-14：40 山内 薫（東京大学教授）
「フォトンサイエンス・リーディング大学院より見る高度人材育成」

- 14：40-15：00 リチャード・ケルナー（Richard Kelner）（駐日欧州連合代表部）
「欧州連合における大学院教育プログラム Erasmus Mundus」

コーヒーブレイク 15：00-15：20

「課題3 化学が率いる持続社会」

- 15：20-15：40 大竹 暁（文部科学省審議官）
「未来を拓く学術のあり方：課題と期待」

- 15：40-16：00 山本 尚（中部大学教授、名古屋大学名誉教授）
「分子技術は我が国の **Natinal Pride** になるか？」

- 16：00-16：20 中山智弘（JST研究開発戦略センターフェロー）
「我が国の科学技術の現状分析と材料科学研究戦略」

- 16：20-16：40 中川 健朗（内閣府参事官）
「科学技術イノベーション実現に向けての国家戦略の動向」

- 16：40-17：00 伊丹 敬之（東京理科大学教授）
「化学技術の未来、そして社会からの期待」

- 17：00-18：00 自由討論（参加者全員）「未来を拓く学術のあり方：化学が率いる持続社会」

話題提供：有本建男（JST研究開発戦略センター副センター長）

交流会 18：10-20：00（会費 5,000円）

世話人：大峯 巖（分子科学研究所所長）栗原和枝（日本学術会議化学委員会委員長・東北大学教授）
渡辺芳人（日本化学会戦略企画委員会委員長、名大教授・副学長）

申込先 中根淳子（分子科学研究所）<nakane@ims.ac.jp>

連絡先 栗原和枝（東北大学）、小杉信博（分子科学研究所教授）